



古代蓮の里 うどん店

行田市産業・文化・スポーツいきいき財団に、改善してもらってはどうか。

**答** うどん店については、地元住民参加により、太田うどん協力会会員が厨房及び接客スタッフとして従事しており、通常期は午前11時から営業しているが、蓮の開花時期は午前9時から営業し、来園者が多く訪れる時間帯に合わせた営業を行っている。

過去には、営業時間の変更等を行ったが、費用対効果の面から、現在の営業時間となっている。

**問** 古代蓮の里の駐車料金の徴収に関し、係員の対応などで、来園者の皆さんに不快感を与えないようにするために、「ゲート」を設置してはどうか。

**答** 平成13年の駐車料金徴収業務開始以来、指定管理者であるいきいき財団が太田蓮友会へ業務委託しており、主要委託内容として、駐車料金徴収業務などを行っているが、駐車場担当への苦情については、委託者であるいきいき財団を通して、改善するよう指導していく。

ゲートについては、短時間に駐車場利用者が集中することが多いことから、今実施している人手による徴収方法が円滑な料金徴収という観点から適当な方法であると考え、ゲートを設置する予定はない。

**○その他の主な質問**  
田んぼアートのPRを

**政治姿勢**

**つくり事業の**

**市長の政治姿勢**

**高橋弘行**  
(しんりよく会)

**問** 個人所有の足袋蔵等の改修を1棟2000万円の税金を使い、平成25年度から27年度まで3カ年計画で1億2000万円の税金を使う計画だが、この事業を進める市長の

真意は。また、この足袋蔵改修は市民の関心がないことについてどう考えるのか。

**答** 本市の歴史的資産である足袋蔵等を再生、活用することにより、他の特色ある施策とともに、交流人口の増加を図り、さらには一歩進めて住みたいまちに行田の魅力を高め、まちのにぎわい創出と活性化へつなげていく。

また、足袋蔵は、市民共通の財産と認識しており、事業実施に当たっては、市民にも関心を持ってもらいたい。

**問** 個人所有の足袋蔵等の改修費用1棟2000万円を補助率10分の10という、個人の費用負担のない、全額税金で行う市長の真意は。また、個人資産に税金を使うことは、法の下に平等という大原則に触れると考えるがどうか。

**答** 一般財団法人民間都市開発推進機構から資金拠出を受け、財源面において有利な条件で事業が実施できることにより、改修した足袋蔵を10年間、公益的かつ公共的に利用することで、さまざまな分野への波及効果が期待される。また、経年劣化が進んでい

る足袋蔵は、将来的に消滅してしまうのは明らかであり、有効活用するためには、まだ再生可能であるこの時期を過ぎると難しくなると考える。

**問** この事業は、国の会計検査の対象になると説明しているが、市長は民間の個人及び団体が、国の会計検査を受けることに不安はないのか。また、万が一、返還命令が出た場合は、どう対処するのか。

**答** 本事業に限らず、国からの補助を受けた場合は、会計検査の対象となるので、まずは補助を行った立場として、適正な運用管理を行い、返還命令にならないよう、指導、監督の面で責任をもって助言等を行っていく。

**まちづくり**

**JR行田駅**

**周辺の再整備**

**梁瀬里司**  
(黎明21)

**問** 本年3月末策定の行田市都市計画マスタープランでは、JR行田駅前広場の再整備と周辺の都市基盤整備が位置づけられており、市及び地域の



JR行田駅前

発展のため、早急な対応が望まれるが、意見集約や説明会、組織づくり、事業計画など事業の進め方や整備時期はどのように考えているか。

**答** 関係各課で構成する検討委員会を組織し、市民、事業者等の意見を伺いながら、JR行田駅周辺の整備方針について検討を始めていく。

なお、具体的な整備時期については未定である。

**問** 駅周辺には公共施設などが充実しているとは言えない。駅周辺の再整備にあたり、西部地域の行政サービス施設の充実が必要と考えるがどうか。また、行政サービス施設の設置に伴い、観光物産館的な施設も併設すべきと考えるがどうか。